釧路湿原川レンジャー News

2015　Vol.1

今年度は１１５名が釧路湿原川レンジャーに登録

北海道開発局釧路開発建設部では、平成１２年度から釧路湿原の良好な河川環境づくりに地域住民が参加するボランティア活動である「釧路湿原川レンジャー」を進めており、今年度で１６年目を迎えます。

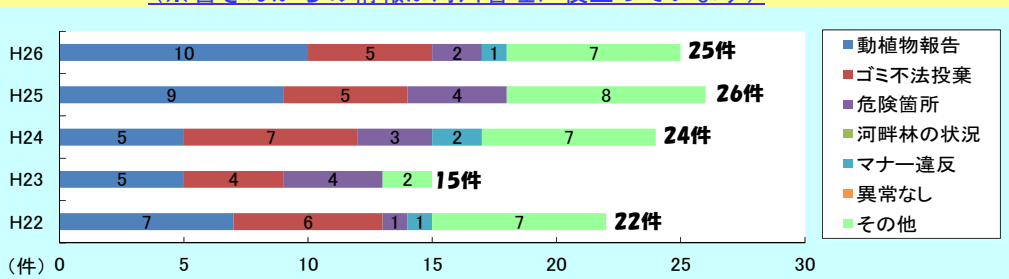
平成２７年度の「釧路湿原川レンジャー」は、新聞・自治体広報誌や自治体などでパンフレットを掲示・配布して広く募集し、釧路湿原の周辺に住む子供から高齢者まで幅広い年齢層の市民が参加しています。なお、今年度は１１５名の方が登録しており、その中の１４名は平成１２年の発足から１６年連続で登録されています。

《皆さんからの意見》
- ○次世代に自然を、釧路湿原を残していきたいと思っています。
- ○今年も体験・勉強させて頂き、川を見守りたいと思います。
- ○植物の外来種侵入は、工事によるもの（工事車輌等へ付着）が大きいと考えられるので、対策を考えて欲しい。

平成２６年度の観察活動では、不法投棄や危険箇所、動植物など２５件が報告され、河川管理に役立てさせていただきました。

平成２７年度の学習活動は、釧路川での植樹や湿原学習、水質・水生生物調査、オオハンゴンソウの防除、自然再生事業現場見学、発表会・意見交換会など全４回行う予定です。

《観察活動》 日常生活において釧路湿原や釧路川に出かけた時に状況を観察し、異常があればその内容を連絡していただきます。
（※皆さんからの情報が河川管理に役立っています）



釧路湿原川レンジャー観察報告内容

主な観察報告

川にタイヤが不法投棄されています。（釧路市　男性）

樋門水路に草が繁茂しています。（釧路市　女性）

- ゲート脇の法面に、二輪車の走行跡がありました。（釧路町　男性）
- 川に油が流出していました。（釧路市　女性）
- 堤防の斜面に、動物の掘った跡がありました。（釧路町　男性）
- 川にミンク（特定外来生物）がいました。（釧路市　女性）

【募集パンフレット】

本年度、新規登録の方に「募集についてのアンケート」を行った結果、知人からの紹介が９割以上を占め、その他に新聞を見て応募していただいたことがわかりました。今後の募集に役立たせていただきます。

観察活動の報告を紹介！！

新年度に入り５～６月に観察活動の報告がありましたので、紹介します。今回は、堤防などの河川構造物の破損や看板倒壊、ゴミの不法投棄、貴重な動植物など様々な報告がありました。

今後も紹介しますので、皆さんからの報告をお待ちしております。

観察活動で報告された内容とその対応（５月～６月分）

報告日	報　告　内　容	対　応
H27.5.14	動物報告：鳥と鮭の稚魚	貴重な環境情報として取り扱う
H27.5.14	看板倒壊	管理者である北海道に連絡
H27.5.15	ゴミの不法投棄回収	釧路河川事務所で処理
H27.6.13	堤防斜面に二輪車走行跡	釧路河川事務所で経過観察
H27.6.13	堤防斜面にキツネの巣穴	釧路河川事務所で補修予定
H27.6.13	堤防斜面に動物による堀跡	釧路河川事務所で補修予定
H27.6.13	植物報告：外来植物が多い	貴重な環境情報として取り扱う
H27.6.20	土地境界の石標が突出	釧路市に連絡

平成２７年度「釧路湿原川レンジャー」認証式が行われました

今年の釧路湿原川レンジャー１１５名の活動が始まりました

平成２７年度「釧路湿原川レンジャー」の認証式が、６月２日に釧路地方合同庁舎会議室で行われ、本年度の活動がスタートしました。認証式には２９名が出席して、北海道開発局釧路開発建設部　村津敏紀次長から出席者全員に認定証が手渡されました。

村津次長は、「平成１２年に５１名でスタートしました、この釧路湿原川レンジャーも今年で１６年目を迎え、延べ人数、約１８００名の非常に多くの方々に御協力をいただいているところです。これも釧路湿原や釧路川をもっと知ろう、地域の環境をもっと良くしていこうと言う、皆様方の変わりない愛着の深さの表れと感じている次第です。

昨年は、皆様から日頃の観察活動において、２５件の御報告を頂きました。一例を紹介しますと、タイヤの不法投棄、樋門水路に草が繁茂している、川に油が流出していた等の貴重な情報が数多くよせられて河川管理に役立たせていただきました。このように釧路湿原川レンジャーの活動は、貴重な釧路湿原や釧路川の環境を守って、正しく利用していただく上で大変重要な役割を担っております。」と、挨拶されました。

また、事務局からは活動の内容や予定などの説明があり、参加した皆さんは真剣に聞き入り、釧路湿原の環境保全を誓いました。

１６年連続で認定されました

夫婦で参加されました

説明を聞く参加者

６月２日認証式に出席した「釧路湿原川レンジャー」の皆さん

釧路湿原川レンジャーの主な活動内容

①観察活動
日常生活で釧路湿原や川に出かけた時に状況を観察し、事務局に報告する。

②学習活動
釧路湿原や河川環境などについて、より理解を深めていただくための学習会や体験活動を行う。

功労者が表彰されました

今年度も多年にわたり釧路湿原川レンジャーとして活動し、釧路湿原の良好な河川環境づくりに貢献した方のうち、**釧路湿原川レンジャーとしての活動が顕著な方**に感謝状が贈られました。なお、本年度の対象者は功労者（登録が５～９年）が５名で、特別功労者（登録が１０年以上）が２名でした。これからも積極的に観察活動の報告や学習活動に参加してください。

認証式で表彰された３名の参加者

新聞に掲載されました！！

釧路湿原川レンジャー認証式の記事が、６月３日の北海道新聞、６月４日の釧路新聞、北海道建設新聞に掲載されました。

釧路湿原の自然守る

開建が川レンジャー認証式

良好な河川環境づくりに貢献するボランティアの釧路湿原川レンジャー認証式が2日、釧路地方合同庁舎で行われた。今年度は115人が登録し、うち30人が出席した。

冒頭、釧路開発建設部の村津敏紀次長が「2000年に51人でスタートしたが、16年目の今年は115人が登録し、延べで約1800人が応募していただいている。長期にわたる活動は皆さんの協力のおかげ」とあいさつ。一人一人に認定証を手渡した。このうち夫婦で応募した津田勉さん（82）、正子さん（80）は今年で3年目。勉さんは、遠矢小学校で3年間、教員を務め、子どもたちとよく湿原に出掛けた。守っていきたいと思いを話していた。

今後、レンジャーは釧路湿原や河川の観察活動（報告）などを行う。（郷裕策）

一緒に認定証を受ける津田さん夫婦

釧路新聞６月４日掲載

釧路湿原保全でレンジャー認証

釧路開建

【釧路】釧路開建は2日、釧路湿原の良好な環境づくりに向けてボランティア活動をする、釧路湿原川レンジャーの2015年度認証式を同開建で開いた。登録した116人のうち30人が参加。村津敏紀次長が認定書を手渡した。1年間の協力を要請した＝写真。

レンジャーは、日常生活で釧路湿原や河川に出掛けた際に状況を観察し、報告する観察活動と、年4回程度の河川環境学習会などで理解を深める学習活動に取り組む。

村津次長は「活動はこれで16年目。これまで延べ1800人に参加していただいた。湿原や川をもっと知りたいという欲求や川への愛着を感じている」と述べ、協力を要請した。3回目の参加という釧路市内在住の夫婦は「足が動くうちは、釧路湿原の良好な河川環境の保全に向けて活動できれば」と話していた。

事務局の治水課職員が取り組み内容を説明した後、活動に取り組む。

特別功労者、5～9年の3人を功労者としてそれぞれ表彰した。活動歴10年以上の2人を

北海道建設新聞６月４日掲載

国土交通省
あしたを創る　北の知恵
北海道開発局

釧路開発建設部治水課
〒085-8551 釧路市幸町10丁目３番地

釧路湿原川レンジャー事務局
０１２０－８９４６－４２（やっぱりくしろしつげん）
http//www.ks.hkd.mlit.go.jp/

「釧路開発建設部」で検索してください！